

STRENNA 2020

del Rettor Maggiore Don Ángel Fernández Artimo

Sia fatta la tua volontà, come in cielo così in terra

BUONI CRISTIANI E ONESTI CITTADINI

2020
Strenna
2020
12月15日
発行

発行所
フロンティア・プレス
〒100-0001
東京都千代田区千代田
1-1-1
フロンティアビル
10F
TEL: 03-5561-1111
FAX: 03-5561-1112
www.frontierpress.co.jp



誠実な社会人、 キリストに倣う者

They will be done
on earth as it is in heaven
Mt 6.10

Good Christians
and
Upright Citizens

みこころが天に
行われるとおり、
地にも行われますように



クラッシュ!!
Crash!!



場面: 学生たちが勉強している。
テーマ: 自分の精めを果たすこと。



場面: 若者たちがサッカーを楽しみ、
 ドン・ボスコが共にいる。
テーマ: 喜び、アシステンツァ。



場面: 若者がお年寄りを助けている。
テーマ: 奉仕の精神。



場面: 労働に勤む姿。
テーマ: 自分の精めを果たすこと、
 労働の大切さ。

場面: 子どもが植物を大切に育てている。
テーマ: 地球を大切にす
 る心、エコロジ精神。

場面: イエスが子どもを
 喜んで迎えている。
テーマ: イエスの慈愛
 (ボンタ)。

場面: 子どもを囲んで家族で本を読んでいる。
テーマ: 子どもを中心に
 家族を大切にする。



ストレンナ2020紹介ビデオについて

サレジオ会総本部広報部門・ANS・南イタリア管区
(ナポリ)広報のエキープによって、
プーリア州、フォッジャを舞台に制作されました。
総長自身が語るナレーションが入っています。
南イタリアの若者の現状も紹介されています。



FOGGIAの町について

フォッジャ (Foggia) は、イタリア共和国**プーリア州**の都市で、その周辺地域を含む人口約15万人の基礎自治体(コムーネ)。フォッジャ県の県都。

「イタリアの穀倉」とも呼ばれる**タヴォリエーレ平原** (Tavoliere delle Puglie) の中心都市。(Wikipedia)

ドン・ボスコの壁画が描かれたのは、地元のサレジアン・センターの近くにある**"カンデラロ"**地区の空白の壁



DBの壁画・・・誰が描いたの？

Jorit **Ciro Cerullo** （時に単に“Jorit”（ジョリット）のみ）

1990年ナポリ生まれ。
世界で最も有名なストリートアート
アーティストの一人。
成熟し、比喩的なスタイルを開発し、
周辺で頻繁に、またイタリアだけで
なく世界各地で、だれでもアクセス
できて無料で見られる巨大で写実
的な肖像画の表現に特化している。



DBの壁画・・・どうやって描いたの？

ジョリットは、フォツジャの壁にドン・ボスコを表現するために、いつものように、ドン・ボスコの有名な格言を複製することから始めました。こうしてセメント・キャンバスを始めたのです。



『自分を良くしたいなら、喜び、勉強、祈り、この3つのことを練習すれば、すべてがうまくいくでしょう。これは、練習することによって、あなたが幸せに暮らすことを可能にする素晴らしいプログラムです！』

DBの壁画・・・いつ描かれたの？

2019年11月29日(金)に描き始め、すでに12月3日(火)には、ドン・ボスコがよく再現されたイメージを見ることができました。

12月8日(日)には、サレジオ会の広報と財務の総評議員が立ち会い、正式にお披露目されました。

その前日7日(土)には、2020年のストレンナ紹介ビデオの最後のシーンが撮影され、その背景となりました。

そして、この壁画は12月末から、世界中のサレジオ家族に公開されました。



DBの壁画・・・どんな意味があるの？



フォッジャの“カンデラロ”地区に描かれた壁画には、多くの意味と**社会的価値**があります。そこに描かれたドン・ボスコの顔は、街の周辺エリアを飾り、「**若者の聖人**」の、人を引き付ける**まなざし**を21世紀の**若者たち**にもたらし続けます。

壁画は比喩的にだけでなく、文字通りの意味で、**若者にドン・ボスコのメッセージ**を伝えるために、あらゆる時代と地域において有効な道具となります。

DBの壁画を見た、フォッジャ出身の若い女性は
Facebookに次のように書きました。



「カンデラロで、私はあなたを見ました。
それは心を燃え立たせるのに十分でした。
子どもたちが歩き回り、時々学校をずる
休みしているところで、あなたはそこに
いて、私たちはあなたを見ます... 皆が壁
画を見つめるとき、私は希望を感じます。
私はあなたのまなざしに希望を感じます。
.....この地域で、あなたは皆の魂の中心
です。」



サレジオ会総評議会 東アジア・オセアニア地域顧問

クレメンテ神父のストレンナの紹介

5284(III)_Moving with the 2020 Strenna

<https://www.bosco.link/webzine/54215>

- ◆ストレンナ2020は、**若者の教育①**に全サレジオ家族の注目を向けさせます。
- ◆力強い、**真実な教育を通して世界を変えることができる**と、私たちは信じています。
- ◆**若者たちが挑戦(困難)に立ち向かっている場②**で彼らと出会い、若者の叫びに耳を傾けなければなりません。
- ◆私たちは、ドン・ボスコの具体性に富んだキーワード **— 誠実な社会人、キリストに倣う者 —**を実現するよう招かれています。
- ◆総長が今回のストレンナ解説で、**キリスト教でない環境で働く多くの管区のためにも特別に心を向けていること**を、私たちはうれしく思っています！

若者の教育①

フェルナンデス総長は、直接触れてはいないが、
その背景にあるであろうと思われるイベント

教皇フランシスコのメッセージ (バチカン 2019年9月12日)

「教育に関するグローバル・コンパクトの立ち上げに向けて」

英語 http://www.vatican.va/content/francesco/en/messages/pont-messages/2019/documents/papa-francesco_20190912_messaggio-patto-educativo.html

伊語 http://www.vatican.va/content/francesco/it/messages/pont-messages/2019/documents/papa-francesco_20190912_messaggio-patto-educativo.html



(私訳から)

2020年5月14日に「教育に関するグローバル・コンパクトの立ち上げ」をテーマに、グローバル・イベントを開催したいと考えています。この会合は、忍耐強く耳を傾け、建設的な対話とより良い相互理解を含む、よりオープンで包括的な教育への情熱を新たにし、若者のための私たちの献身を再燃させるでしょう。広範な教育協定の中で我々の努力を結束させ、分裂と敵対を克服できる成熟した個人を形成し、より友愛的な人類のために関係の生地を回復する必要はこれまでありませんでした。

すべての変更は、すべての人を含む教育プロセスを必要とします。したがって、すべての人々がそれぞれの役割に応じて、オープンで人間関係のネットワークを形成するタスクを共有する「教育村」を作成する必要があります。

これらのグローバルな目標を達成するためには、「教育村」としての私たちの共有の旅は、重要な一歩を踏み出さなければなりません。まず、人間を中心に配置する勇気をもたなければなりません。そのためには、全世界が深くつながっているという事実を無視できない正式で非公式な教育プロセスを推進することに同意し、健全な人類学に基づいて、経済学、政治、成長を思い描く他の方法を見つける必要があります。

私は、教育に関するグローバル・コンパクトを通じて、歴史への方向性を与え、より良い方向に変えることができる、将来を見据えたイニシアチブを通じて、一緒に促進することを奨励します。

FMA: マードレの11月のチルコラーレ 9
92号 参照

若者たちが挑戦(困難)に立ち向かっている場②

(ビデオから 若者の声)



① 「幸せになりたい♡」



② 「本当の友達がほしい♡
ネット上じゃなく」



③ 「共に未来を
築きたい♡」



④ 「ひとりぼっちで
いたくない♡」



⑤ 「自分を尊重して
もらいたい♡」



⑥ 「自分の道を選
びたい♡」

⑦「僕の考えを
聞いてくれる人に
出会いたい♥」



⑧「ちゃんとした
仕事がほしい♥」



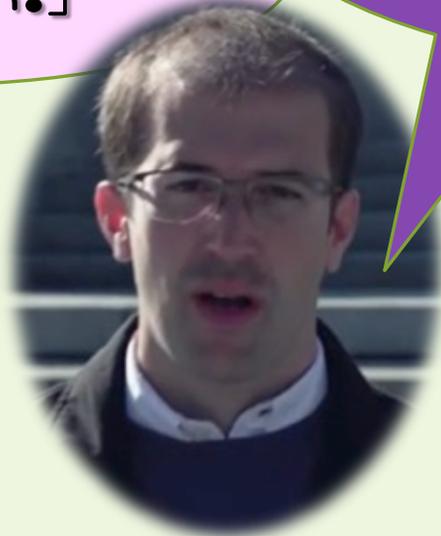
⑨「社会を変えることに
参加したい♥」



⑩「公害のない世界に
暮らしたい♥」



⑪「自分の町で
暮らしたい♥」



⑫「人間らしく
生きていきたい♥」



サレジアン・シスターズ ローマ本部でのフェルナンデス総長によるストレンナの解説

2019年12月27日



このビデオは、ストレンナを深めるものではありませんが、決してこれだけでは十分ではありません。なぜなら現代の「動画」という言語を用いているからです。ストレンナの**内容そのもの**は、この中には見出せません。それは**本文の中**にあります。今回の内容は、私たちの**サレジオ世界の多様性**に関して、とても有益なものとなるでしょう。



今年のストレンナはとても**美しいもの**です。しかし受けている**挑戦**はとても**大きなもの**です。なぜならその扱っている**テーマ**はとても**広範**なものだからです。「**良いキリスト者、誠実な社会人**」というモットーは、とても美しい言葉です。けれどもそれを**生きはじめた**ときに、**多くの困難**に出会います。このビデオの中では、**若者たちが満足していない状況**が出てきます。私たちはそれに**どう応えていける**のでしょうか。



はじめに



現状把握

サレジオ修道会・・・134か国、90管区にドン・ボスコのカリスマが広がっています。

そのうち、40の管区が「**多文化・多宗教の環境を考慮する必要**」に迫られています。

それらは特に、アジア、アフリカの管区です。



世界の偉大な諸宗教に囲まれた
少数派の教会の中で生きています。

これらの地域では、「**予防教育法**」を用いることによって、

イエス・キリストの福音を伝える、第一次福音宣教から始めます。

「**予防教育法**」 **人間的絆、家庭的雰囲気**を生み出します。

その雰囲気の中で**教育**が行われ、

少しずつ浸透することによって**信仰が伝えられます**。



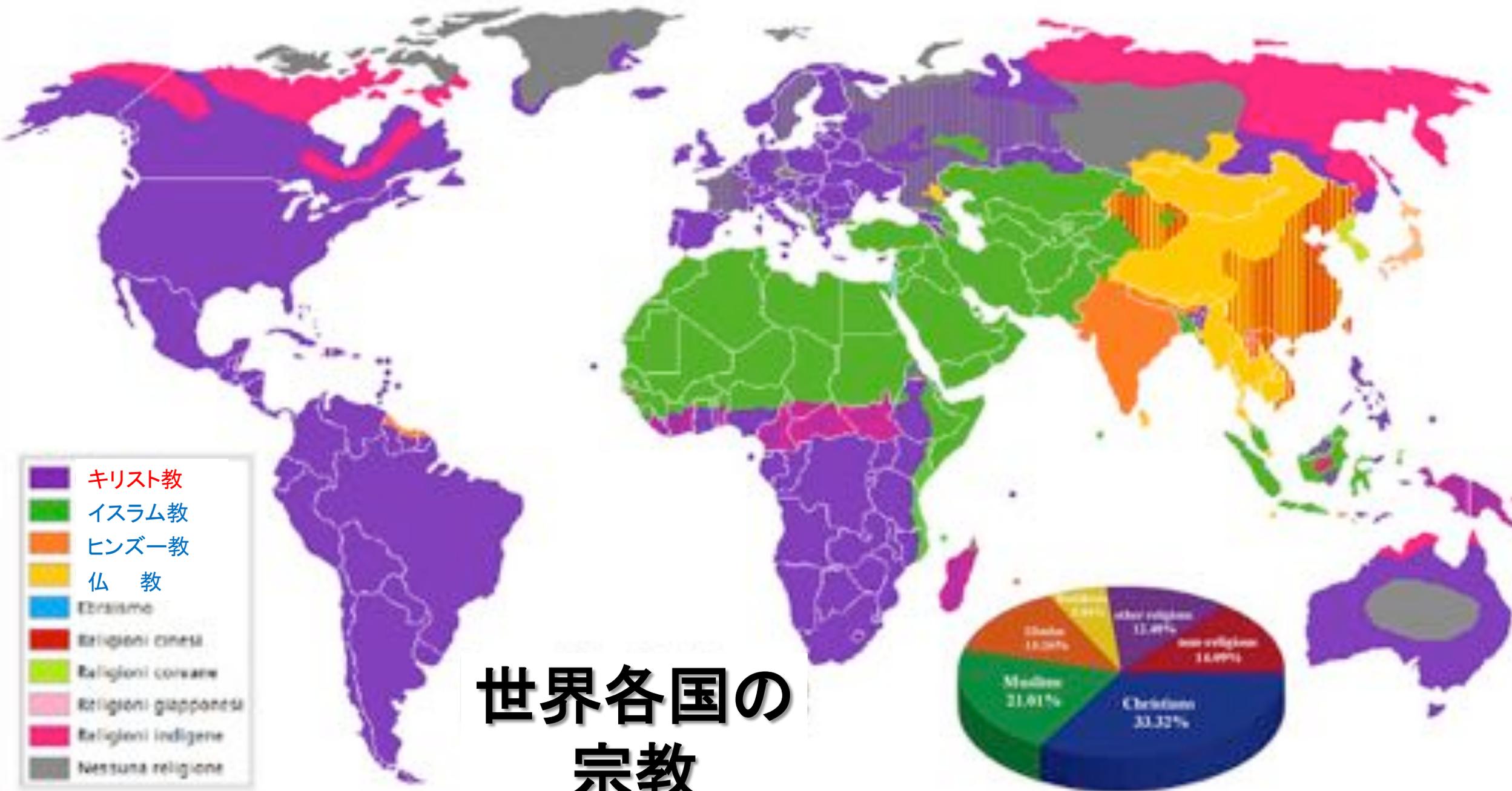
★ドン・ボスコが19世紀に行ったことを

繰り返すだけでは十分ではありません！

今日、キリスト教徒でない人々が
大多数の国々で「予防教育法」を
生きるサレジオ会員の体験から、
学ばなければなりません。

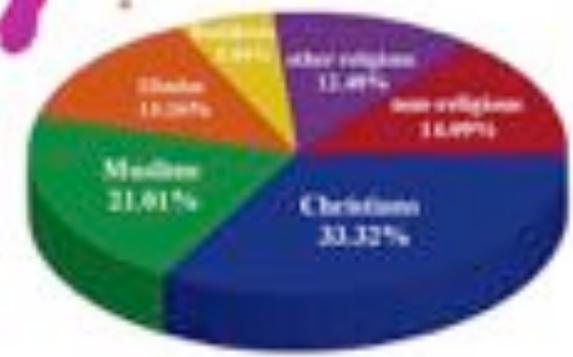


その会員たちは確かに、我らの父ドン・ボスコが想像もしなかったような多宗教、多文化の環境の中で、その思想を理解し、活かすことを学んだ豊かな生活体験をもっているのです。



- キリスト教
- イスラム教
- ヒンズー教
- 仏教
- Ebraismo
- Religioni cinesi
- Religioni coreane
- Religioni giapponesi
- Religioni indigene
- Nessuna religione

世界各国の宗教





ピエトロ・ブライド sdb

生:1919年9月12日

没:2014年11月11日 (享年95歳)

一生をDBの研究に捧げた。



«Buoni Cristiani e Onesti Cittadini»

DBはこのモットーを、何度も違うフレーズで繰り返した。(32回)

ブライド師の研究より

《BUONI CRISTIANI ONESTI CITTADINI》という表現は、ドン・ボスコのオリジナル？

★1500年代ごろから、その表現は使われていた。

⇒(バルナビーティ、カルロ・ボロメオ、ロベルト・ベッラルミーノ..... etc.)

ドン・ボスコにとって《BUONI CRISTIANI ONESTI CITTADINI》という表現は？

⇒教育の目的

⇒対立する二元論ではなく、対になった二項論

ドン・ボスコが、この表現を最初に用いた一番古い書物は？

⇒1846年 オラトリオの「定期的な家族の読本」

『オラトリオは、「良いキリスト者、誠実な社会人」を
生み出す望みを抱いている宗教的な場所です。』

引用文献 — 教皇フランシスコ 使徒的勸告



BUONI CRISTIANI

良いキリスト者
(キリストに倣う者)

第1部



1.1 キリストに倣う者 主への信仰をもって、 聖霊の導きのもと生きる

「信仰に生きる」ことは、
今日、私たちが、身分、
年齢、召命、宗教にかか
わらず、互いに交換し、
与え合うことができる最も
貴重な賜物です。



「若者に関するシノドス」が穏やかにしかしはっきりと明言したことは、新しい世代は、自分の人生を完全に主に捧げた人々のうちに、《輝かしく一貫した証し》を見出すことを待ち望んでいるということです。
(シノドス討議要項より)



1.2. キリストに倣う者 私たちに語られる神に 耳を傾けながら生きる

私たちに語られる神に
耳を傾けることは、芸
術家やアスリートが、
卓越した専門分野で
日々磨きをかけるよう
に、**毎日の実践練習が
必要**です。



沈黙は、神と人との間に
交わされる言語の文法
のようなものです。…他の
どんな言語からも区別され、
ただそれを通してのみ
神が人に語られる言葉
があります:それは『**聖書**』
です。

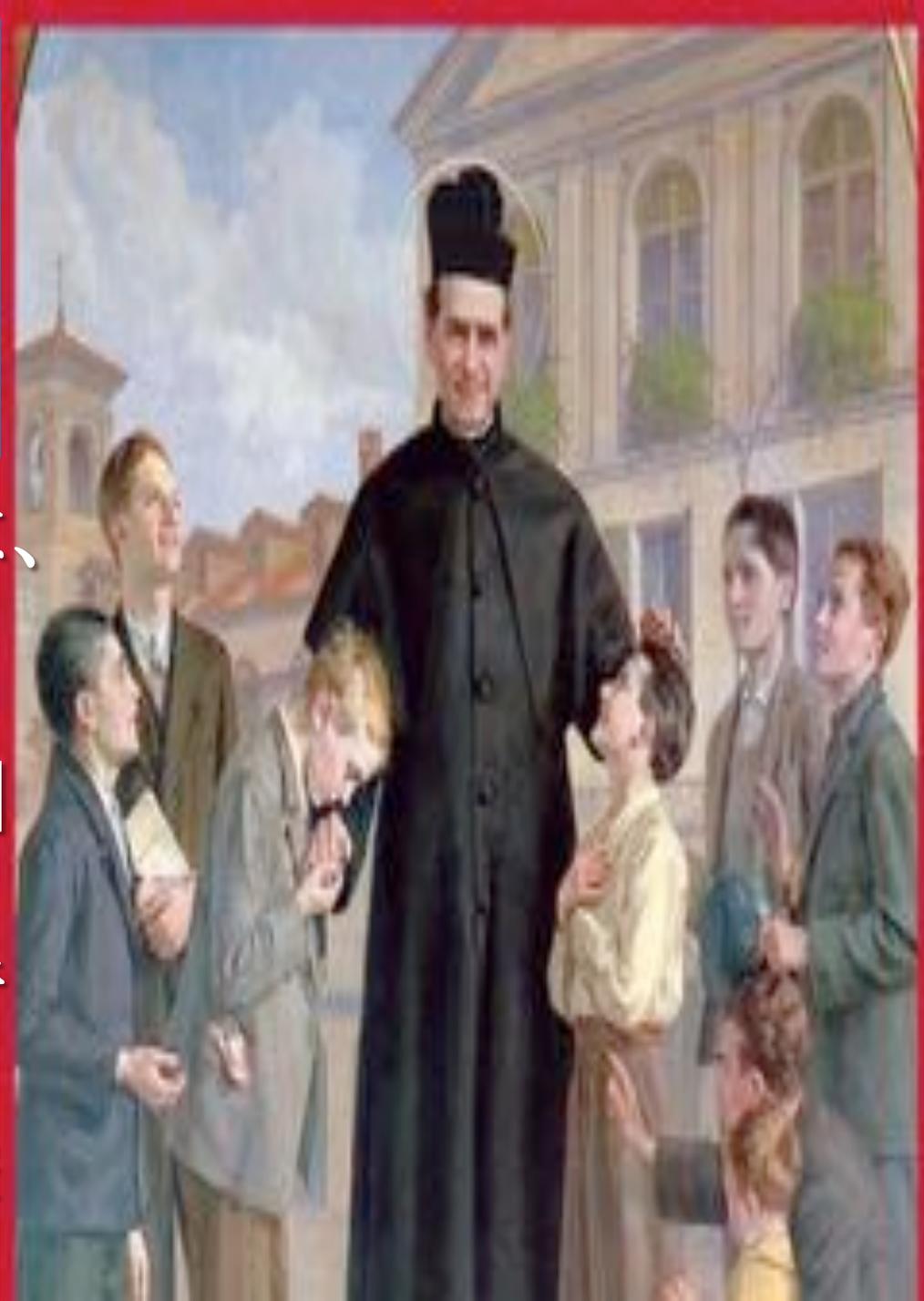


1.3. キリストに倣う者

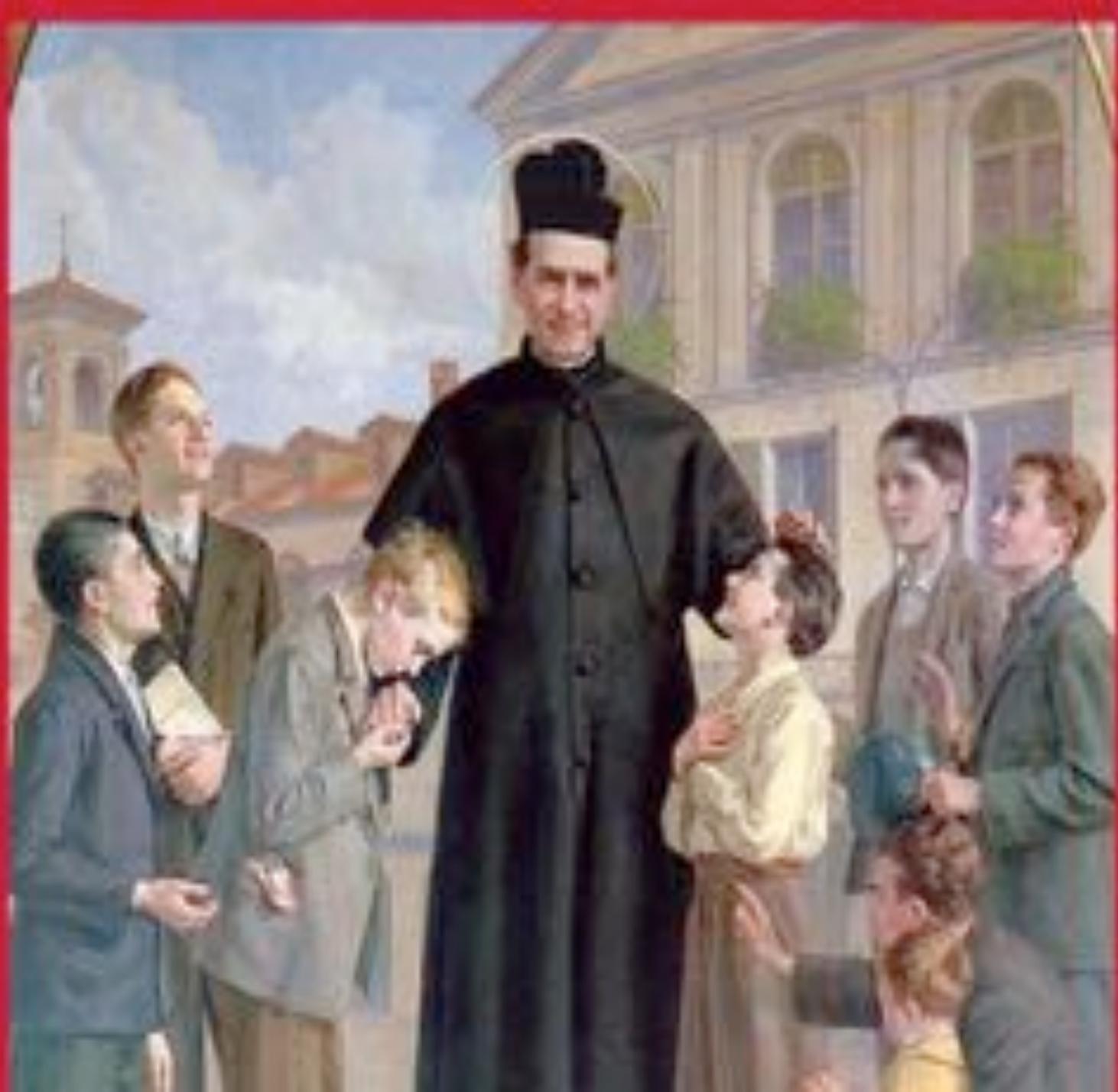
福音を告げ知らせ、最初の告知をし、要理教育を行いたいという望みをもって。
『私たちの会の始まりは、ささやかなカテキズム(要理教育)だった』(MB IX, 61).

『彼は**青少年の救い**をめざす以外には、
一歩も動かず、一言も発せず、どんな企てにも着手しなかった。……彼の心には**霊魂のこと**しかなかった。』
(サレジオ会会憲21条)

『わたしたちは神の忍耐にならい、青少年が達している**自由の程度に合わせ**て彼らと付き合う。』(サレジオ会会憲38条)

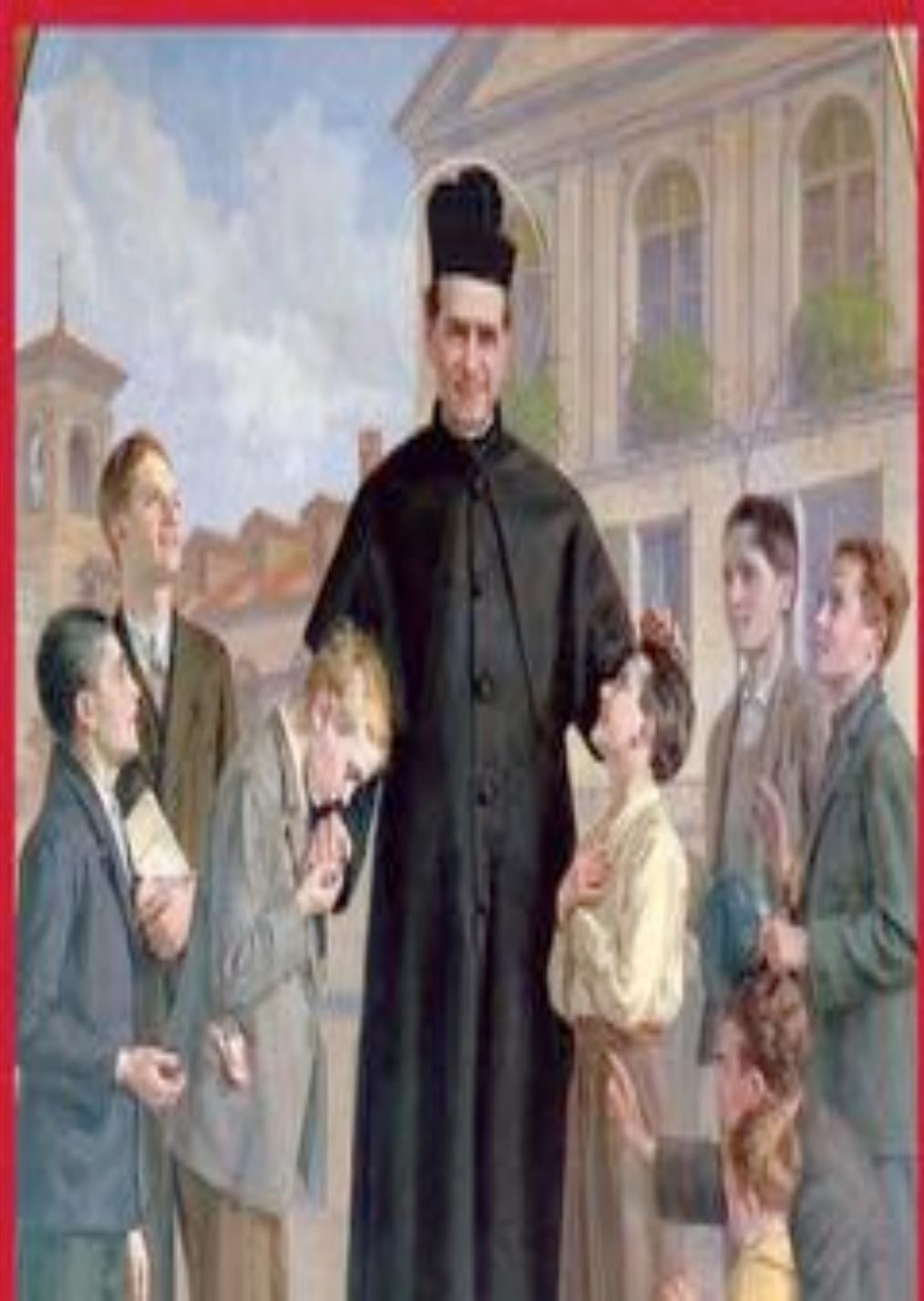


この同じ心をもって
すれば、**他の宗教を
信じている、あるい
は何の宗教も信じて
いない若者**や家族
の中にあって、どの
ように振る舞えばよ
いかを知ることができるでしょう。

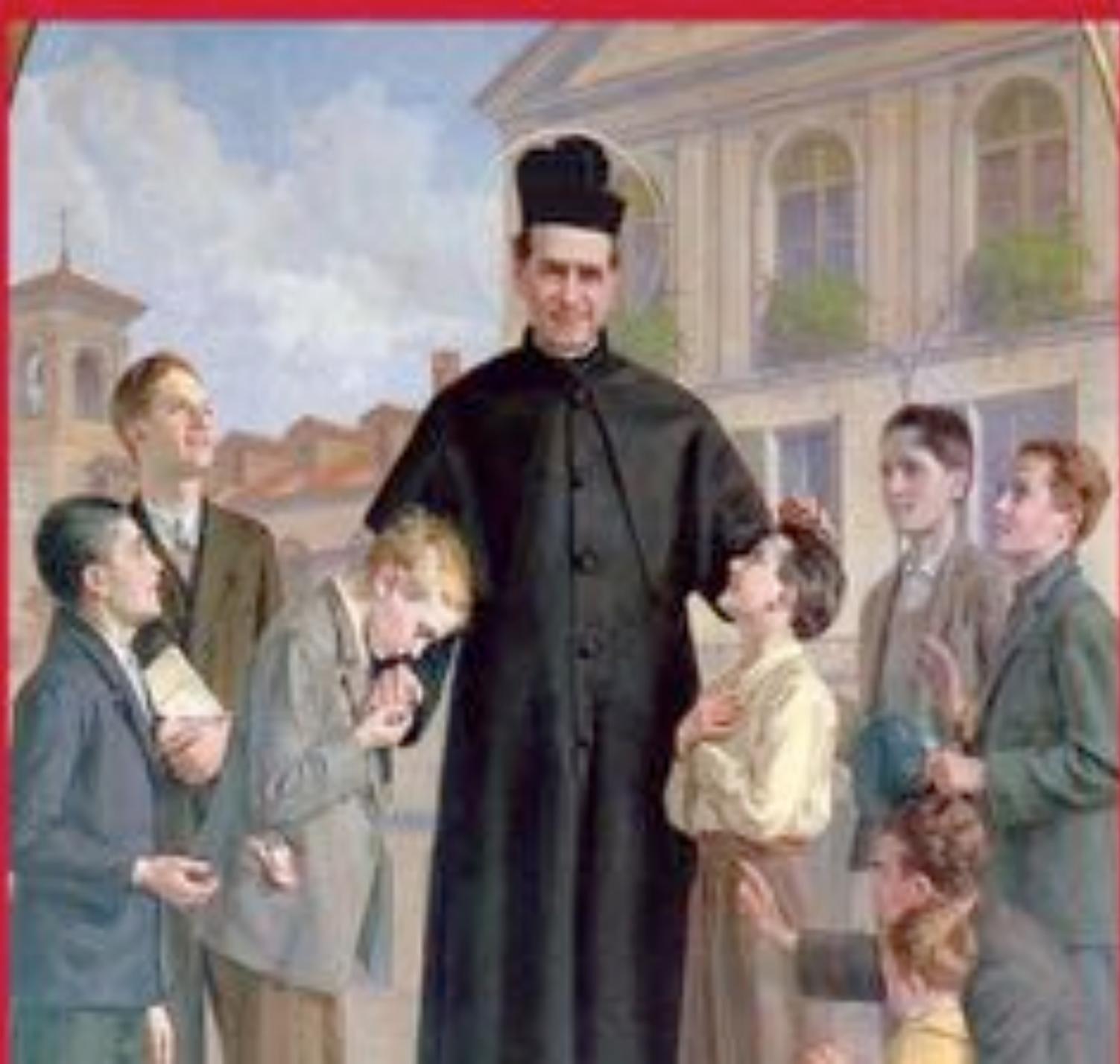


『私は誰を遣わそうか。誰が我々のために行くだろうか』(イザヤ書6章8節)。

このイザヤ書の古い言葉は、現代では全教会共同体の口から、**私たちサレジオ家族に向けられている言葉**だと解釈できないでしょうか。カリスマとして、聖霊の賜物として、**若者たちとの出会いに対してスペシャリスト**であるべく生まれたこの家族に対して。スペシャリストとは、**どのような若者たちであっても、またどこに居ても、そしてどのような宗教を信じていたとしても、彼らと出会うことができる**という意味です。



この宣教における
挑戦から身を引くとい
うことは、サレジ
オ家族の外に身を
置くということです。
つまり、ドン・ボスコ
が私たちに伝えてく
れた精神から遠のく
ことです。



1.4. キリストに倣う者 真のサレジオ霊性を生きる

「初めの愛に立ち戻る」

どうしてわたしたちはいつも疲れていると感じるのでしょうか？わたしたちのスケジュール表はいつもいっぱいだからですと言う人がいるでしょう。しかし、『この問題の原因は必ずしも忙しさではありません。むしろ、活動のしかたがよくないことによります。ふさわしい動機づけがなかったり、活動に行き渡ってやりがいをもたらす霊性がなかったりするのです。』（教皇フランシスコ『福音の喜び』82項）



この疲れをいやすためには原因を探究しなければなりません。**初めの愛に戻ることが新しい命をもたらします。**ドン・ボスコを思い出しましょう。彼もその晩年に、ヴァルドッコのオラトリオから、もう最初の愛がなくなっているのを見たのですから。それで彼は**ローマからオラトリオの若者たちと自分のサレジオ会員に向けて手紙を書いた**のでした。**.....初めの愛に戻る必要がありました。**



A: 靈性

「**靈性**」という言葉は、今の流行であると言えるでしょうが、また同時に、とてもあいまいさをもった言葉であると言えるでしょう。……このようなあいまいさが残るとして、道を探し求めている人にとって、**靈性はキリスト者としての生活への入り口**となります。教皇様はこう述べています。



A: 靈性

『ある若者たちは、**神への探求心**.....が見て取れます。他の若者には、兄弟愛への、決して弱いものではないあこがれがあるのが分かります。**世界に何らかの貢献をなすため、自分の才能を伸ばしたいという確かな願い**が多くの若者にあるようです。.....そうした人たちの多くが、**違った生き方への強い望み**を抱いているように思います。これらが真の出発点であり、刺激、光、励ましとなることばに開かれて待つ、内なる力なのです。』

(教皇フランシスコ『キリストは生きている』84項)



A: 霊性

この、開かれた態度は、道を「探し」求めている青少年や大人たちのために、サレジオ家族として何をしているかということ私たちに自身に問いかけてきます。私たちが提供できるのは、ほんの少しの光と励ましです。しかしこの配慮は、今やいたるところに広がっている、既に宗教的なしるしが何の力も活力ももたなくなっている地域において、特に緊急課題となっています。おそらくこのために教皇様は私たちにこうおっしゃっているのでしょう。



A: 靈性

『神父や司牧者、青年指導者になるよう召し出されている人の洞察力は、燃え続けるわずかな炎を、折れそうでいて折れてはいない葦(イザヤ42.3参照)を見出すところにあります。それは、ほかの人には壁にしか見えないところに**道を見いだす力**、ほかの人には危険でしかないところに**可能性を見出す才覚**です。これこそ、若者の心に蒔かれたよい種をよいものと認め、育てることのできる、御父である神のまなざしです。ですから若者一人ひとりの心は「聖なる大地」であり、神のいのちの種の運搬人だと考えなければなりません。神の神秘に近づき、それを深く極めるためには、その前で「履物を脱ぐ」必要があるのです。』

(教皇フランシスコ 『キリストは生きている』 67項)



B: キリスト教の霊性

幅広い霊性の領域において私たちは「**キリスト教的な霊性**」のうちにあります。

青少年司牧は、各々の青少年を、彼らの歴史、人生、心の中で**生きておられる神の神秘と出会わせる**のを助けることを目指します。



B:キリスト教の霊性

『わたしはあなたが、
自分を大事にし、真剣
に考え、**自分の霊的
成長を目指すことを期
待**しています。』

(教皇フランシスコ『キリストは生
きている』159項)

なぜなら、**霊性は人生
に触れる**ということは、
疑いのないことだから
です。



C:サレジオ霊性

サレジオ霊性は、**ドン・ボスコ**の**霊的体験**を理解することなしに分かることはできません。

サレジオ霊性は、ドン・ボスコと初期のサレジオ会員たち、扶助者聖母会員たち、信徒協力者たち、そしてオラトリオの若者たちが生きぬいた霊的体験にその根源があります。



C:サレジオ靈性

私たちの靈性は固有の、そして非常に特徴的な側面を示しています。

- ・ **日常**の靈性
- ・ **喜びと樂觀的見方**による **復活**の靈性
- ・ **イエスとの友情**とパーソナルな関係性の靈性
- ・ **教会との一致**を保つ靈性
- ・ **マリア的**靈性
- ・ (ドン・ボスコが「良きキリスト者、誠実な社会人」を養成するという目的で)常に提供されていた**責任ある奉仕**の靈性



1.5. キリストに倣う者 キリスト教でない社会、 信仰やキリスト教が過去の ものとなった社会の挑戦を 前にして

イエスは私たちをどこに派遣しているのでしょうか？
主は、私たちをすべての人の
ところに遣わされています。そ
してサレジオ会的使命は、**私
たちをすべての人のところへと
派遣**します。教皇様は言いま
す。



『行って、あらゆるところ、それも社会の周縁、遠く離れた人、**私たちに無関心であるように思われる人にまでキリストをもたらし**ことをおそれてはなりません。主はすべての人を捜し求めます、すべての人がご自分のあわれみと愛の温かさを感じることを望まれます。



そのかたはわたしたちに、おそれることなく、宣教する者のメッセージを携えて進みなさいと呼びかけておられます。どこにいても、だれといっても、近所で、学びの場で、スポーツを通して、友人と出掛けているときも、ボランティアをしているときも、仕事中も、いつだって、福音の喜びを分かち合うにふさわしい機会なのです。』(教皇フランシスコ『キリストは生きている』177項)



ここで、アンヘル総長様は、偉大な宣教師チマッティ神父様の例を挙げられました。

彼は、その作曲活動を通して日本の文化との仲介者となり、文化間の対話に努めました。そのために彼は地方当局からも、真の日本人であると認められるに至りましたと紹介しました。

そして、こう続けました。



「この事は、神の名を呼べないところで、どのように神を語ることができるかということを見い出す能力であります。サレジオ霊性は、現代の世の中に対して、とても美しい特徴をもっています。それは、尊敬、近づきやすさ、傾聴、他者に対する注意深さ、彼らの時を尊重しながら若者に同伴すること、キリスト教信仰を生きていない若者たちとの間に素晴らしい架け橋を築く要素などです。他の扉を開く人間的出会いは、いつでも可能なのです。」と。



キリスト教の環境でも、キリスト教でない、あるいはキリスト教を過去のものとする環境でも、私たちが**脅威にさらす、避けるべき4つの危険性**があります。

*** 原理主義 — 相対主義**

*** 排他主義 — 混合主義**

これらは司牧計画の助けにはなりません。



では、どのような提案が有効
でしょうか？

- ➡ **み言葉の種**を育む
- ➡ **対話**
- ➡ **あかしの価値**
- ➡ **福音を宣べ伝える**



1.6. キリストに倣う者 自己に執着しない人

福音宣教はキリストの弟子としての特徴です。教皇フランシスコが、その使徒的勧告の中で次のように述べられたことを思い出しましょう。



『わたしにとって民のただ中での**福音宣教**とは、生活の一部でも、取り外せる装飾品でもなく、人生の中の付録でも、ちょっとした時間のことでもありません。**それは、わたしという存在から、それこそ自己破壊を望むのでもなければ取り除くことのできないもの**です。



わたしはこの地上に派遣されているのです。
(IO SONO **UNA MISSIONE**
SU QUESTA TERRA)

そのために、わたしはこの世にあるのです。
(PER QUESTO MI TROVO **IN**
QUESTO MONDO)』

(教皇フランシスコ『福音の喜び』273項)



a. - 他者のためのあなたのいのち

神との出会いは、私が自分自身から出て他者のところに行くように引き出してくれます。
『神と会うことを「恍惚」と呼ぶのは、神の愛のとりことなって、**自分が自己から引き離されて高みに上げられる**からです。ですがわたしたちは、一人ひとりの中に秘められた美、尊厳、神であり御父の子であるかたの似姿としてのすばらしさに気づくことでも、**自分から引き離される**のです。聖霊はわたしたちが、**自己の外に出るよう、愛の心で他者を抱きしめ、その人の幸せを追求するよう、**駆り立てておられます。』

(教皇フランシスコ『キリストは生きている』164項)



b. - 「私 io ! 」から「私が eccomi ! 」へ

この他者に開かれた生き方は、
「私 ! 」から「私が」へと移行するよう私たちを招きます。

『神がお与えになる救いは、私たちの人生とで編まれている
愛の物語に加わるようにという
召し出しなのです。』

(教皇フランシスコ『キリストは生きている』
252項)



ONESTI
CITTADINI
誠実な社会人

第2部





2.1. 誠実な社会人 若者たちは「いのちの家」で 私たちが待っている

今日ほど、「**貧しく、助けを必要とする**」若者の割合が、数においても、そしておそらく生活の状況においても、多かったことはかつてなかったと確かに言うことができるでしょう。



したがってそれは、サレジオ家族にとって、大きく開かれた働きの間ですが、私たちは安易に「困いの中」に居ることで安心し、**私たちの柵の中に、向こうから来てくれる若者たちで満足してしまう危険性**があります。



イエスは、弟子たちが「彼らは私たちと一緒にはいませんでした」と、他の人々を非難した時、すぐさま「私たちに反対しない人は、私たちの味方である」とおっしゃったように、**すべての差別や排他主義を避けなければなりません。**



「主の祈り」の根底にあるのは、正義、連帯、和解、尊敬、平等、最も弱い立場の人々の保護の「政策」です。

2.2. 誠実な社会人 私たちの青少年に責任ある市民権 と社会的責務を教育する



教皇フランシスコは、『キリストは生きている』の中で、若者たちの社会的責務に関する能力に関して興味深い解釈をしています。そして、それは私たち、若者の教育者・福音宣教者にとっては、一つの司牧的提案となります。



『私は知っているのです。「あなたの心、若い心は、**よりよい世界を築きたがっています**。世界中のニュースを見ていると、世界の多くの場所で、多くの若者が、もっと正義と友愛のある文明への望みを表明して、通りに出ています。街頭に出る若者たちです。**変革の主役になろうという若者たち**です。変革の主人公をほかの誰かにやらせてはなりません。**希望の星はあなたたちです。あなたたちを通して世界に未来が訪れる**のです。あなたたちには、この変革の主役にもなってほしいのです。世界のさまざまな場所で生じている社会的・政治的不安に対して、無関心を克服して、キリスト教的な答えを示してください。→



あなたたちをお願いします。未来を築く建設者になり、世界をよりよいものとする働きに加わってください。愛する若者の皆さん、お願いです。観客席から人生を眺めるのではなく、そこでもまれてください。イエスは観客席にはおられず、積極的にかかわられました。ですから観客席からの人生ではなく、イエスがなされたように、そこでもみくちやにされてください」。とにもかくにも、どうにか、消費主義や薄っぺらな個人主義の山に冒されずに、共通善のために闘い、貧しい人に仕える者となり、愛と奉仕の革命の主人公となってください。』

(教皇フランシスコ 『キリストは生きている』 174項)



2.3. 誠実な社会人 私たちの青少年に 政治的な奉仕の責任を**教育**する

(経済的、社会的、教育的、保健的、国際的.....など)数多い政策の中で、私たちはサレジオ家族として、次の方策を選ぶことができるでしょう。

- ・「**主の祈り**」の方策
- ・「**日ごとの糧**」の方策
- ・常により貧しく、正義と愛徳の真の政治を必要としている「**裸足の人々**」の方策



したがって、今日、教育者として、キリスト者として、そしてドン・ボスコのサレジオ家族のメンバーとして、私たちの政治的な行動は、社会的なものでなければなりません。それは、**連帯と人間的兄弟愛、他者を尊敬し、受け入れる真の出会い**、そして今、ここで、「**神のみ国**」が**実現すること**に**貢献する行動**です。



2.4. 誠実な社会人 私たちの青少年に 誠実な生き方と、 社会規範を**教育**する

墮落は、もはや多くの社会において常習的になってしまっている「**死へと向かう流れ**」です。そして、それはもちろん真の**悪**であり、大いなる**罪**で、主イエスがもたらした希望とは全く相いれないものです。



世界中のサレジオ家族に属する**教育者**たちは、学校で読み書きや数学、化学、歴史を教えるだけではなく、**世の中のヴィジョン**において**すばらしい影響**を与えてほしいのです。つまり、私たちの**社会**をかたちづくり、それをより良いものへと変えていくための**道具**となることを教えてほしいのです。

2.5. 誠実な社会人 変化する世界と移住の現象を前に、 心を開き共に責任を担う

私は世界各地への訪問で、私の兄弟たち、サレジオ家族のメンバーたちの、移民・難民への高い感性と働きを目の当たりにしました。これは、私たちに流れている**サレジオのDNA**から来るものです。





私は誤解を恐れずに次のように言うことができます。

「私たちは、転々と移住することを余儀なくされた**一人の移住者**、そして、のちに移住者たちの世話をするように子らを宣教者として派遣した人の**息子、娘たちである**」と。



国連の統計によると、

* 世界の移民 = 人口の約3.5%
2億7,160万人

* うち3,900万人 = 18歳未満の
未成年者

* 国内移住者 = 推定7億9000万人
(2009年)

現象



7,080万人のうち、4,130万人の移住者は、特に**戦争のため**に自国内で移住を余儀なくされた人々。

自国を離れる人々は2,590万人の難民に加え、350万人が庇護を求めている。

これらの**強制移民の半数は18歳未満の未成年者**であり、**家族がいない未成年者は11.1万人**いると推計されている。



☆ドン・ボスコ自身も移住者

ベッキ⇒キエリ⇒トリノ

★オラトリオに迎え入れた

最初の少年たち

仕事を求めて田舎からやってきた季節労働者や定住者たち。

(参照:トリノの主任司祭たちとの問答)



☆移民のための宣教師を派遣

1875年、アルゼンチンに移住した**イタリア移民の世話(司牧)**をするために、最初の宣教師団を派遣した。

(後にポーランドやドイツからの移民の世話もした。)

将来へのビジョン

この分野で、私たち、ドン・ボスコの家族は「**スペシャリスト**」になるべきではないでしょうか。

もし私たちがそうでなければ、**ほかに誰がなり得ましょうか。**

この使命のために**サレジオ家族の各グループ**はそれぞれのいただいた賜物を提供しましょう。

宣教ボランティア、サレジオ青年運動は、この責務の遥かなる地平を開きます。





2.6. 誠実な社会人 若者が私たちに願うように 人類が共に暮らす家を世話する人

通人類が共に暮らす家に対する責務（『ラウダート・シ』で提起された環境問題のビジョン）は、付け足しのような責務ではありません。私たちの文化、信仰、生活様式、使命、教育と福音宣教の全体に問いを投げかける地平です。

総合的環境論は、(人間的、靈的価値観においても)全人教育の提案をも私たち投げかけます。



- ◆ **エコロジーにおける回心**
- ◆ **共に暮らす家のため、責任ある取り組みに参加する若者と共に歩む**
- ◆ **人間のエコロジーに向けて**
- ◆ **教育的、文化的アプローチ**



2.7 誠実な社会人 人権、特に青少年の権利の擁護

聖霊によってドン・ボスコのうちに起こされた私たちサレジオ家族の目的は、**未成年者、若者、世界中の少年少女**たちに、**私たちの人生のすべてを捧げる**ことであり、**最も無防備な人々、最も困っている人、最も弱い人々、最も貧しい人々**を優先することです。



このため、私たちは、**すべての人権、特に青少年の人権擁護の分野の専門家**であり、誰かがこのような行動をとらなかった場合、涙を流してでも許しを求める必要があります。

「若者、信仰、召命の識別」のシノドスで述べられたように、「**権力、良心、性的、金銭的虐待**」の、**いかなる形態の虐待にも加担することはありません。**



「予防教育法」と「人権」に関する、**パラダイムの変換**の二つの提案

① **予防教育法**を、**禁圧的教育法**に代わるものとして見ることから、**人権を促進する優れた手段**として見ることへと移行すること。

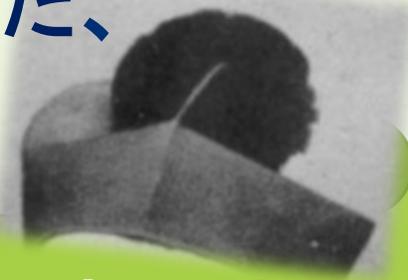
② 市民に言及する法律に関して養成することから、**市民が主張する権利**に移行すること。

ドン・ボスコの
「主の祈りの政治」
とは？

結びの言葉



1883年7月15日 オラトリオに帰って来た同窓生たちに話した、 ドン・ボスコのことばから



「私たちは事業によって実際に政治を行うわけではありません；私たちは既存の権威を尊重し、守るべき法律を順守し、税金を払い、そうしてやっています。ただ貧しい若者のために善いことを行い、若者の魂を救うこと、それだけをさせてほしいと願うのです。自分たちが望むなら、私たちも政治を行います。しかし全く無害な、むしろどの政府にとっても益となるような方法で行います。政治とは、国家をよく治める科学、術として定義されます。



さて、イタリア、フランス、スペイン、アメリカ大陸と、オラトリオは根づいたすべての国で、特に**最も助けを必要とする若者の苦しみを和らげることを実践しながら、非行少年や浮浪者の数を減らし、つまらない犯罪に走る者や泥棒の数を減らし、刑務所を空にする傾向があります。**



一言で言えば**良い市民を育てる**傾向があるのです。良い市民は公的権威をわずらわせるどころか、社会の秩序、穏やかさ、平安を保つために、その支えとなります。**これが私たちの政治**です；これまで、私たちはそのことだけに取り組んできたのであり、将来もそうです。まさにこの方法によって、ドン・ボスコはまず皆さんのために善いことを行うことができ、今後、あらゆる時代、あらゆる国のほかの多くの若者のためにも善いことを行うことができるのです。」



マードレ・イヴォンヌ・ランゴア (FMA総長) のことば

今年のストレンナで選ばれたテーマは、私たちの**使命の本質の要約**です。それは非常に広大であり、共に耳を傾け、深め、識別することを必要とします。

もし大人たちが「**誠実な市民**」であることの価値と、一貫した自分の**信仰**をもって「**良いキリスト者**」であることを証ししないのであれば、若者たちは自分たちでは**世の中を変える**のは非常に困難です。



サレジオ家族としての私たちの豊かさは、
それぞれの固有の召命を活かしながら、大人
と若者が一緒に歩む教育共同体を築くことができるとい
うことです。

こうして若者たちは一緒に世界を変えることができるこ
とを理解します。

私たちはサレジオ家族として力を合わせ、この歩みに
他の多くの人々を巻き込むよう招かれていると感じてい
ます。



先日行われたイタリアの諸管区の院長集会で、**ある女子青年**がシスターたちにこう言いました。

「皆さんはいつも、私たちが来るのを待っています。でも探しには来てくれません。私たち**若者は探される必要があります**。私たち**若者は呼ばれる必要があります**。もし今、皆さんたちが『**若者たちを探しに行こう！**』と心に決めてこの会議場から出ていくとしたら、**きっと何かが起こるでしょう。**」と。





これこそ実行に移すことの良い例です。
今の若者たちは、**自分たちの方からは来ません**。けれども愛される必要を感じています。
若者を探しに行きましょう！そして彼らと共に歩みましょう。
これこそ『サレジアーノ』です！
聖母が共におられます。そして、私たちに同伴してください。

フェルナンデス総長は、**キリスト教でない人々**、あるいはキリスト教が過去のものとなった人々が**多数を占める環境**に居る私たちに、次の**10の質問**を投げかけています。**共に考えてみましょう！**



①	キリスト教徒でない子ども・若者や協働者・ミッションパートナーと共にある私は、 ドン・ボスコの表現・やり方をどのように実践 しているでしょうか。
②	キリスト教徒でない人への 開かれた姿勢 と福音の第一次宣教とのバランスを、私はどのように取っているだろうか。
③	「 良いキリスト者ーキリストに倣う者 」という考えを、キリスト者でない大多数の 協働者にどのように伝えている だろうか。
④	私たちが暮らす多宗教の環境で、柱の一つ「 信仰 」をどのように実践しているだろうか。
⑤	ドン・ボスコの 予防教育法 の精神ー道理・信仰・慈愛ーをもって教育することを、どのように実践しているだろうか。

⑥	キリスト教徒でない多くの人と分かち合う使命の中で、ドン・ボスコの「良いキリスト者ーキリストに倣う者」を、日々の生活でどのように理解し活かしているだろうか。
⑦	他の宗教を信じる協働者と共に働く場合も、ドン・ボスコの予防教育法をあますところなく生き実践することは可能であると、総長は信じているのだろうか。
⑧	キリスト者でない人々に、教育司牧共同体(EPC)にどのように参加してもらっているだろうか。
⑨	サレジオの教育的使命に参加するキリスト者でない人々自身、どのような意見・思いを語っているだろうか。
⑩	ドン・ボスコの予防教育法の実践の最も魅力的な要素・表現は何だろうか。

結びの祈り

主イエスよ、
あなたの福音を実践するために
私たちにどれほど努力が必要か、
あなたはご存じです



ドン・ボスコのうちにあなたを観想するよう助けてください
ドン・ボスコのふるまい方にあなたの愛を見ること
ドン・ボスコの行動にあなたの道を識別すること
ドン・ボスコの愛情にあなたのいつくしみを知ることができますように

ドン・ボスコが
あなたの弟子として生きたスタイルを
自分のものとしてできるよう、
私たちに光をお与えください

私たちの心を、
良い羊飼いである あなたの心にかたどり
あなたの言葉を、
生き方と働きへと変容させる力を
お与えください
アーメン。





FINE



と思いきや...

GIORNATE DI SPIRITUALITÀ DELLA FAMIGLIA SALESIANA 2020



2020年 1月16日(木)~1月19日(日) ヴァルドッコ

4日間

5大陸

31グループ

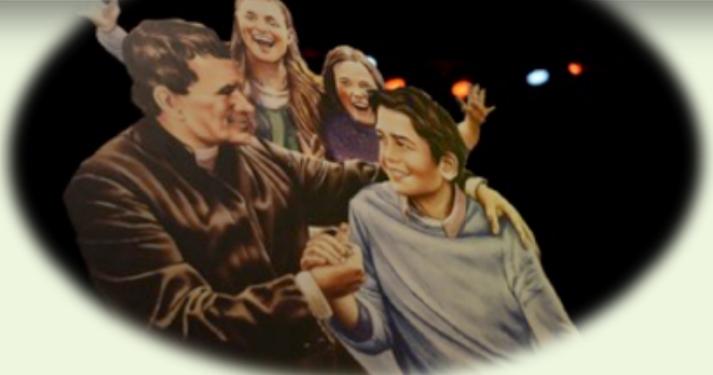
350人の参加者



会場は、



こんな感じで、



熱気にあふれて。。。

超まじめな、



イエスのカリタス



修道女会の



シスターたちの姿も





ここで、もうひとつ

サプライズ、

お宝映像♡



私の愛する日本のサレジオ家族の皆さん、
私は今、サレジオ家族の霊性大会が行われている、ここ、ヴァルドッコのドン・ボスコのご像の足元、そして扶助者聖マリア大聖堂の前から皆さんにご挨拶します。

皆さん方の元に、私の愛情深い抱擁と、皆さん方への「ARIGATOU, ARIGATOU」が届きますように。

そして、共に過ごした日本への美しい訪問の日々のうちに、皆さん方を思い出しています。

私は、今ここで私たちが行っているように、皆さん方もそちらで、皆さん方の家族的精神と、今年のストレンナを深める機会としてくださることを心から願っています。

それは、日本を、特に日本の若い人々が、自分の人生の中に神のまなざしを見出すことができるのと、彼らが、よい、素晴らしい社会人となるのを助けることができるためです。

皆さん方のあかしによって、主イエスを伝えることができます。

よい一日を！ そして、皆さん方のお一人おひとりに、大きな抱擁をお送りいたします。 チャオ！



FINE